

在学生のみなさん
保護者のみなさま

2022年度 授業方針について

帝塚山学院大学
教務部長 渡邊 隆弘

新型コロナウイルス感染症の状況に対応しながらの2021年度授業が終了いたしました。授業形態の切り替えに対応しながら学修に取り組んでくれた学生のみなさんの努力と、保護者のみなさまのサポートに、深く感謝いたします。

さて、2022年度も引き続き、状況に応じた教育活動が求められます。本学の授業につきましては、下記の方針に基づいて実施いたします。

記

1. 2022年度(以降)の授業方針について

- ・学生と教職員の安全を大前提としながら、可能な限り「集合授業」を実施することを原則とします。
- ・ただし、大学が教育上の効果があると認めた一部の科目についてはオンデマンド形態（自宅等の教室外の場所で動画配信や音声教材配信による授業を受講し、課題に取り組む授業形態）での授業を実施します。
- ・新型コロナウイルス感染症への対応については、一定の基準のもとで、状況に応じて集合授業・遠隔授業を切り替えます。

2. 2022年度の新型コロナウイルス感染症対応について

2022年度も引き続き、大阪府新型コロナ警戒信号（以下、大阪モデル）のステージに応じた授業形態の切り替えを行う予定です。

<大阪モデルステージ別 本学の教育活動>

グリーン	イエロー	レッド	緊急事態宣言	休業要請
集合授業中心		遠隔授業中心		遠隔授業
集合形態 オンデマンド形態		集合形態 オンデマンド形態 オンタイム形態(Zoom等)		オンデマンド形態 オンタイム形態 (Zoom等)

※大阪モデル修正版（2021年11月25日付）に基づきます。

※学外実習は実習先と協議の上、別途判断します。

※全てのステージにおいて、学内の新型コロナウイルス感染症対策（3密対策）を行います。

※大阪モデルの状況（大阪府新型コロナ警戒信号）は大阪府HP（<http://www.pref.osaka.lg.jp/>）から確認可能です。

3. ご自宅のICT環境のご確認について

本学では、集合授業を中心とする状況下においても、インターネットやパソコン等を使用して学習を行うWebClassを活用した授業の取り組みを行っていることや、オンデマンド形態の授業を取り入れていることに加え、新型コロナウイルス感染症の状況によっては遠隔授業が中心となる期間が発生する可能性もあります。新学期開始までに、ご自宅のICT環境についてご確認と可能な範囲での整備をお願い申し上げます。

（次ページへ）

環境が確保できない学生には、学内で遠隔授業の受講環境（自習環境）を提供することが可能です（詳細は3月中にポータル配信予定）。ただし、受け入れ可能な学生数が限られますので、可能な限りご自宅にて受講環境の整備をお願いいたします。

また、休業要請期間中は学内への立ち入りを制限するため、受け入れができませんので、あらかじめご了承ください。

2022 年度授業方針について、少しでも不明な点、不安な点がございましたら、ご遠慮なく授業課までお問い合わせいただければ幸いです。

以上

※新学期ガイダンス日程および新学期関連資料は、3月上旬に保護者住所へ発送する成績通知書に同封してお送りします。

※新学期ガイダンスの実施形態や春学期授業の授業形態については、今後の新型コロナウイルス感染症拡大状況および国や大阪府の動向をふまえて、3月中に判断する予定です。

※決定事項は随時ポータルおよび大学 HP (<https://www.tezuka-gu.ac.jp/>) にてお知らせいたしますので、定期的に確認してください。

【問い合わせ先】

帝塚山学院大学 教学企画センター 教学課

TEL：072-296-1331（自動アナウンス番号 2）

（取扱時間）月～金 9：00～16：50

※土日祝は閉室しています。